



2011年7月24日  
岩手県下閉伊郡山田町にて  
第2回活動の様子



今回の大震災に遭遇して「自分自身で何ができるのか」と考えていましたが、個人でのボランティア活動は制約があって難しく、それでも被災地の現状を見たいとの思いで仙台、石巻、女川を視察のために宿泊した仙台国際ホテルの総料理長から、ゴブラン会が多賀城市で炊き出しを行うことを知りました。ゴブラン会が行う東日本支援活動の一員として参加したい旨、中村会長をお願いをして参加させて貰える事になり、第2回目の岩手県山田町の避難所、3回目の福島県磐城市のスパリゾートハワイアンズ、4回目の宮城県気仙沼市舞根集会所での炊き出しと3回のお手伝いをさせて頂きました。被災地に向かう車中から見える景色は

廃墟同然で、被災地の状況と被害の大きさに言葉を無くして胸が痛くなりました。炊き出しでは、料理を召し上がった人々から、「このような料理は初めて食べたが本当に美味しかった御馳走様、ありがとうございます」と感謝の言葉を言われ、少しでも元気を与えられたのではないかと思います。「自分自身で何ができるのか」との思いからゴブラン会の会員として支援活動に参加する機会に恵まれ、料理人として被災者の方達に食を通じて感動と、喜び、心の豊かさを届けることが出来、逆に私達が元気を貰ったのではないかと考えています。

横浜マイスター / ㈱藤代商店 顧問  
清水 郁夫



3月11日、私は、松戸にある自分のお店の2周年のお祝いのスパークリングワインを選んでいました。一瞬であらゆるものが倒れ、ガシャン、ガシャンと音だけが響きわたり、悲鳴が満ちあふれました。そして、私にできることはと自問し、初めての炊き出しに参加しました。震災現場は、「言葉が出ない」というのはこういう事なんだと思えるほど凄惨なものでした。でも、「これからが僕の出番だぞ!元気だせ。元気を皆さんに届けるんだ!!」と自分に言い聞かせながら臨みました。「フランス料理は初めてだ!」「お肉は久しぶり!」「肉だ、肉

だ!!」など、多くの方々の喜びの声を耳にしながら勇んで料理していた僕の傍らで「こんなの今まで食べたことない、おいしい!!」と一人の少女がつぶやきました。それを耳にした僕は、元気を届けに行ったつもりが逆に元気をもらってしまいました。情けない。大変なのは、自分じゃない、震災された方々。陰の方々だと。こういうことに気づかせて下さった皆様は、逆に感謝しております。

田島亭 オーナーシェフ  
田島 加寿央